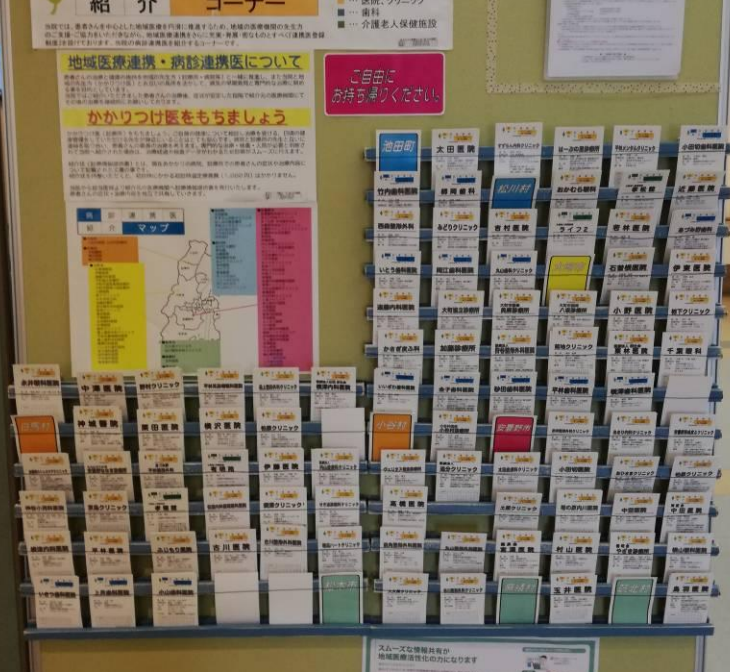


病診連携医紹介コーナー

連携室だより

2018年8月発行 JA長野厚生連 北アルプス医療センターあづみ病院 〒399-8695 北安曇郡池田町大字池田 3207-1 編集発行/地域医療連携課 TEL 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456



2016年4月より、外来棟正面玄関エントランス近くに「病診連携医紹介コーナー」を開設し、当院病診連携医のご紹介およびカードサイズの連携医案内の配布を行っております（ただし事前に掲示の了承をいただいた病診連携医のみが対象となっております）。

来院された方に自由に手にとってもらい、お持ち帰りいただけるようになっております。現在では患者さん・ご家族等にもすっかり定着し、利便性がよいと大変好評です。このように患者さんと連携医の先生方の情報共有を行うことで、さらなる病診連携推進の一助となればと考えております。

なお、今後あらたにコーナーへの掲示・配布をご希望の当院連携医の先生がおられましたら、お気軽に地域医療連携課までご連絡ください。

新規!! 病診連携登録医

おかげさまで、当院の連携登録医制度に、下記の先生に新規お申し込みをいただきましたのでご紹介いたします。今後末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。（7月末現在、病診連携登録医数 **95** 施設）

医院・施設名	医師名	登録月
丸山整形外科医院（安曇野市）	丸山 正廣 先生	2018年4月

『病診連携登録医募集のご案内』（地域の医療機関の先生方へ）

当院では、患者さんを中心とした地域医療を円滑に推進するため、地域の医療機関の先生方のご支援・ご協力をいただきながら、地域医療連携をさらに充実・発展・密なものとするべく『病診連携医登録制度』を設けております。詳しくは、地域医療連携課へお気軽にお問い合わせください。（担当：木島）

患者さんのご紹介等に関するお問い合わせ・ご要望は、地域医療連携課で承っております



北アルプス医療センターあづみ病院 地域医療連携課

TEL（直通）0261-61-1455 FAX（直通）0261-61-1456
E-mail renkei@azumi-ghp.jp
受付時間 平日8時30分～17時00分 土曜日8時30分～12時30分（診療日に限ります）

連携室だより

北アルプス医療センターあづみ病院 理念

質の高い医療と社会への貢献をとおし、地域の皆さまから信頼される病院を築きます。

CONTENTS

第54回地域連携懇話会

新任医師紹介

肩関節治療センターリハビリテーション室

病診連携医紹介コーナー

新規!! 病診連携登録医



JA長野厚生連

北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

《表紙：内視鏡室》

63
August 2018

第54回

地域連携懇話会

講演①：「股関節について」

講師：北アルプス医療センターあづみ病院 整形外科部長
太田 浩史 先生

講演②：「胆膵疾患の診断と治療 標準的治療と今後の展望」

講師：北アルプス医療センターあづみ病院 消化器内科部長 兼 内視鏡室長
村木 崇 先生



新任医師の紹介



質疑に答える太田医師



講演する村木医師

2018年6月7日、当院やまなみホールにて第54回あづみ病院地域連携懇話会を開催しました。今回は、当院整形外科部長・太田浩史先生と消化器内科部長兼内視鏡室長・村木崇先生よりご講演いただきました。

前半は太田先生より「股関節について」という演題で、関節の定義、関節の分類、関節軟骨の分類について詳しく解説されました。また、代表的な成人股関節疾患である変形性股関節症について、人工股関節置換術を行うタイミングや合併症についてわかりやすく丁寧に説明をいただきました。

つづいて後半は、村木先生より「胆膵疾患の診断と治療 標準的治療と今後の展望」という演題でご講演をいただきました。わが国における死因第1位は悪性腫瘍で、その多くを消化器癌が占めており、消化器癌である胃癌、大腸癌、膵癌について、また胆嚢癌の扱い、膵炎、自己免疫性膵炎（IgG4関連疾患）についてわかりやすく説明をいただきました。

今回は、お二人の先生方からの講演を予定したため、30分ずつの短時間の講演となってしまいましたが、それぞれ専門的な立場からのお話をうかがうことができ、よりいっそう知識を深めることができました。

次回の地域連携懇話会は秋頃を予定しておりますので、大勢の皆さまのご参加をお待ちしております。（地域医療連携課 児玉）

新任医師紹介



岡田 文美子

（おかだ ふみこ）

こころのホスピタル事業部
精神科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆ 東京女子医科大学（平成元年3月卒）
- ◆ 精神保健指定医
- ◆ 日本産科婦人科学会認定専門医
- ◆ 日本医師会認定産業医
- ◆ 日本精神神経学会
- ◆ 信州精神神経学会
- ◆ 日本産科婦人科学会

◆ 4月より勤務させていただくことになりました岡田文美子と申します。大学卒業後は産婦人科医をしておりましたが、縁あって精神科の勉強を始め、婦人科診療や検診を行う一方、精神科単科病院で精神科医として勤めておりました。趣味は片づけと、いたって地味な日常ですが、この度、総合病院精神科での勤務の機会を頂戴することができ、大変幸いに存じます。少しでも早く職場に馴染めるよう、いろいろとご指導賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



肩関節治療センターリハビリテーション室

実際のリハビリテーションの様子

2014年10月、従来の整形外科から独立して肩関節治療センターが発足しました。肩関節疾患に特化し、肩関節の問題に関するすべての診療を専属の医師3名、理学療法士17名などのスタッフで治療を行う県内初のセンターです。肩関節治療センター内には肩関節疾患に特化したリハビリテーション治療を行う肩関節治療センターリハビリテーション室があります。

当センターリハビリテーション室の特徴としては、肩に症状を認める場合、まず専門の医師が診断を行い、その診断結果をもとに、理学療法士が各症例ごとに肩関節やその他全身の関節可動域や筋力などの評価を行います。評価結果より抽出した問題点に即して治療プログラムを立案し、症例ごとに症状変化に対応して治療プログラムを変更しながらリハビリテーション治療をすすめてまいります。

肩関節の疾患に関しては、肩関節周囲炎などの保存的加療の症例から腱板断裂や反復性肩関節脱臼および人工肩関節全置換術などの手術を要する症例まですべて当センターで治療を行っており、手術を施行される方には術前からリハビリテーションを開始し、術後のリハビリテーションを経て、退院後の外来リハビリテーション治療まで一貫して行っております。また、2017年4月より月2回のスポーツ外来診療も開始し、スポーツ競技により生じる肩・膝・腰痛などのスポーツ障害に対してのスポーツリハビリテーションも積極的に行っております。

患者さんの視点に立ったより質の高い肩関節治療を皆様へ提供できるよう、これからもスタッフ一同精進してまいりたいと思っております。（肩関節治療センター技師長 理学療法士 高橋 友明）